



証券コード 7814

2022年12月期 2Q 決算説明会資料

2022年8月16日 (火)



We Craft Your Imagination.

Vision

日本創発グループの存在意義／めざすこと

We craft your imagination.

お客さまが羽ばたかせるご自身のイマジネーション。
私たちは、多様なリソースと先進技術を駆使して、
それを確かなカタチにするお手伝いをしていきます。

Mission

ビジョン実現に向けて、日本創発グループがなすべきこと

チームワーク

お客さまのチームの一員との心持ちで最善を尽くし、
ベスト・パートナーとなることをめざします。そのため
にも、社内・グループ内のチームワークの強化に努めます。

プロの真心と技

私たちは、お客さまのご満足と成功を願う真心と、
それを支える技を兼ね備えたプロフェッショナルです。

言い訳のない品質

納品物の品質はもとより、企画段階からアフター・フォ
ローまでのプロセスとスピードにおいても、言い訳の
ない高い品質を実現します。

Value

ビジョンとミッションの下、

日本創発グループがお客さまや社会に提供する価値

プラスαの追求

私たちの最大の喜びは、お客さまにご期待をこえる
成果をお届けし、その笑顔を見ることが。もっと
その笑顔に出会うため、私たちは自らを鍛えながら、
お客さまにとってのプラスαを追求し続けます。

我が事として

私たちは、目の前の一人ひとりのお客さまのご要望や目的、
お悩みやお困り事に真正面から向き合います。そして、
そのご満足を我が事として、丁寧に、一所懸命に追求します。

多様性の底力

私たちは、多様な個性、専門性、先進技術をもった人と
会社がつびつき、切磋琢磨している集団です。そこに
息づく多様性、先進性、独創性をいっそう発揮しな
がら、お客さまに新鮮な驚きをお届けしていきます。

新しいカタチ

私たちは、伝統的な印刷をさらに進化させつつ、想像力
と先進デジタル技術を駆使して、クライアントの想いを、
今まで見たことのないカタチでターゲットの心に
刻みつけていきます。

良き市民

私たちは、良き市民として、お客さま、投資家、協力企業、
業界、社員、さらには地域社会や環境に対する責任を、
誠意をもって、また積極的に果たしていきます。

01 グループ会社

New 2022年

2022/8/16

	印刷	ITメディア+ セールスプロモーション	プロダクツ
連結子会社	<p>日経印刷株式会社 SEIO PRINTING CO., LTD. BISHODO</p> <p>研精堂印刷株式会社 TANAKA MGS</p> <p>Lithmatic A PRISE 株式会社 アプライズ サンエーカガク印刷 Sanei Chemistry Printing</p> <p>2022年7月 連結化</p> <p>RINGSTONE 株式会社 スズキ 製大瓶整美堂</p> <p>2022年1月 連結化</p> <p>株式会社 小西印刷所 宏和樹脂工業株式会社</p>	<p>popal ANSTY CAD CENTER PICO</p> <p>FIVESTAR INTERACTIVE Crow Gate PRESEZ</p> <p>2022年7月 連結化</p> <p>SONICJAM ONE PUBLISHING</p> <p>New 2022年4月</p> <p>DIAMOND HEADS</p> <p>New 2022年4月</p> <p>BARK IN STYLE</p>	<p>colore co.,ltd. 新日本工芸(株)</p> <p>MEDICOS ENTERTAINMENT CO.,LTD. 株式会社 エスピー社</p> <p>2022年4月 合併</p> <p>SMILE FLAG 株式会社 スマイル funbox</p>
持分法適用子会社	<p>HAL SCS SAsao CS ANGO カタオカプレス株式会社 SMC</p>	<p>kyocolo MC MARKETING DIRECTORS GI Playce (90.77%)</p>	
持分法適用関連会社	<p>持分比率UP</p> <p>lijima (38.00%) NRI NRIソフトウェア株式会社 (49.00%)</p>	<p>cyber net (25.17%)</p>	<p>IPO 2022年3月</p> <p>IMAGEMAGIC (30.72%)</p>
持分法適用外関連会社	<p>PROMO (90.91%)</p>	<p>アークレー Visolab aex inc. (90.00%) (79.17%) (14.89%) ALPHA CODE (30.57%) Five for (45.71%)</p>	<p>IBENZAI LANSSELOI (33.33%) SO-KEN (30.77%) FRONTIER JAPAN (14.39%)</p>

(%)は議決権比率、記載の無い会社は議決権比率100.00% ※連結子会社は議決権比率を記載していません。

02 新規グループ参入会社

2022/8/16

連結子会社：印刷関連事業の拡充

株式会社小西印刷所

兵庫県西宮市

2021年1月持分法化（議決権比率39.02%）

2022年1月より連結子会社（議決権比率100%）

商業印刷および付帯サービス

兵庫県西宮市で1926年（大正15年）創業、同市最大規模を誇る総合印刷会社。
システム構築、WEB、動画作成や販促プロモーション企画の運営制作など印刷の枠を超えた総合サービスを提供しています。



株式会社リングストーン

東京都江東区

2021年4月持分法化（議決権比率37.83%）

2022年7月より連結子会社（議決権比率100%）

包装資材および販促商品の企画、製造、販売

ファッションバックを中心に包装資材、パッケージ、販促商品を企画・開発・製造・販売を行っています。
茨城県行方市に敷地面積約8,000坪の自社工場を保有し、自社での一貫生産が可能です。



02 新規グループ参入会社

2022/8/16

連結子会社：ITメディア・セールスプロモーションの強化

株式会社ダイヤモンドヘッズ 東京都港区
2022年4月より連結子会社（議決権比率100%）

High Quality メディアデザイン

株式会社パークインスタイル 東京都渋谷区
2022年4月より連結子会社（議決権比率100%）

モデルマネージメント・インフルエンサーマーケティング

株式会社ワン・パブリッシング 東京都台東区
2020年10月持分法化（議決権比率49.50%）
2022年7月より連結子会社（議決権比率59.20%）

書籍出版・WEBメディア、コンテンツマーケティング



02 新規グループ参入会社

2022/8/16

持分法適用関連会社

飯島製本株式会社

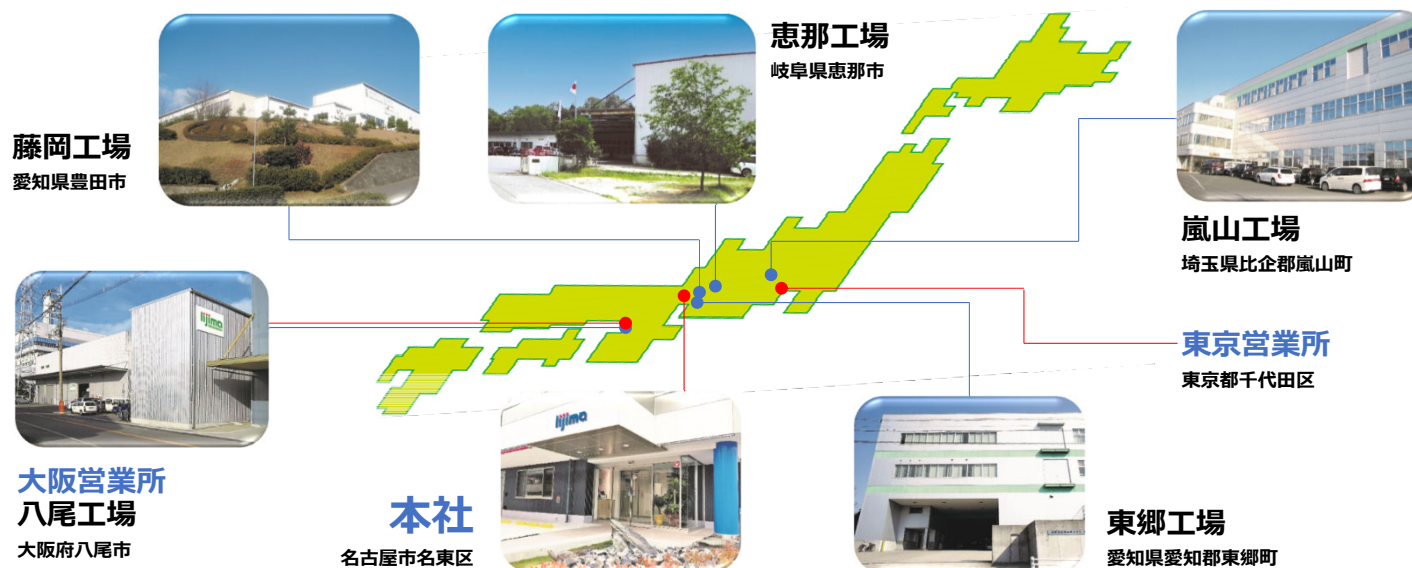
名古屋市名東区

2021年7月持分法化（議決権比率21.60%） ⇒ 38.00%



製本加工全般

創業約100年、中京圏に3工場、関東圏、関西圏に各1工場。



03 2022年12月期2Q連結累計期間の概況

2022/8/16

(単位：百万円)

	2022年2Q 実績 (A)	2022年12月期計画 (B)		2021年2Q 実績 (C)	差 異 (A-C)	
	金 額	金 額	対計画比 進捗率	金 額	金 額	対前期比 増減率
売 上 高	29,399	60,000	49.0%	26,617	2,782	10.5%
営業利益	1,560	2,200	71.0%	794	766	96.4%
営業利益率	5.3%	3.7%	—	3.0%	—	—
経常利益	1,636	2,500	65.5%	1,363	272	20.0%
経常利益率	5.6%	4.2%	—	5.1%	—	—
親会社株主に 帰属する 当期純利益	773	1,500	51.6%	625	148	23.8%
当期純利益率	2.6%	2.5%	—	2.3%	—	—
EBITDA	2,769	4,700	58.9%	2,292	476	20.8%

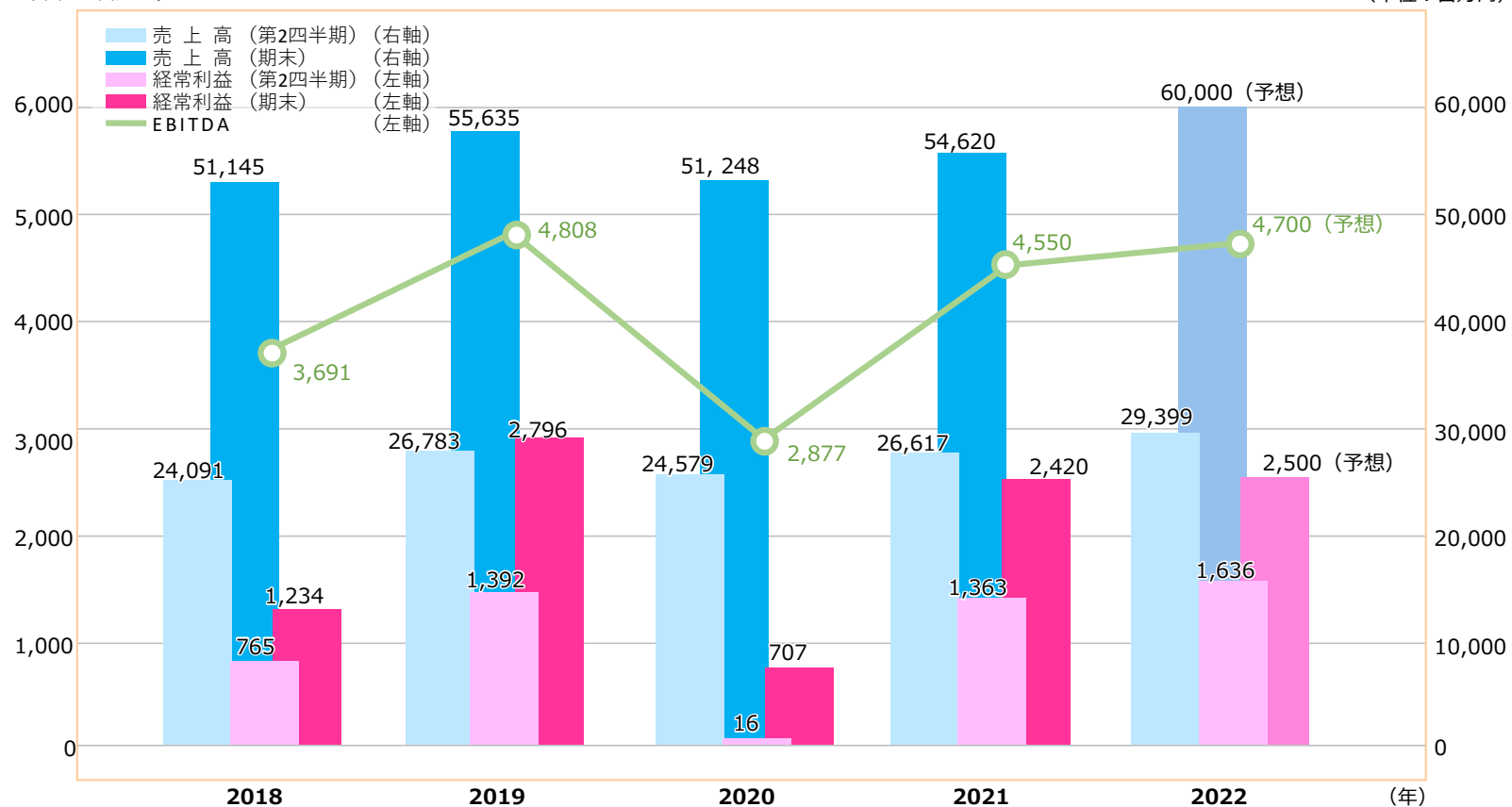
※EBITDA = 経常利益 + 減価償却費 + のれんの償却額 + 金融費用

03 2022年12月期2Q連結累計期間の概況

2022/8/16

(単位：百万円)

(単位：百万円)



※EBITDA = 経常利益 + 減価償却費 + のれんの償却額 + 金融費用

※2019年12月期以降は、不動産賃貸収入を売上高ではなく 営業外収入として計上しています

03 2022年12月期2Q連結累計期間の概況

2022/8/16

売上増加の内容

2022年12月期 2Q ----- 連結子会社 **32社**

売上高 **29,399**百万円

2021年12月期 2Q ----- 連結子会社 **28社**

売上高 **26,617**百万円

+ **2,782**百万円 + **10.5%増**

新規連結子会社

(株)小西印刷所	1月～
(株)ダイヤモンドヘッズ	4月～
(株)パークインスタイル	4月～
(株)ワン・パブリッシング	6月末 (貸借対照表のみ)

⇒売上増加分 **約13億円**



約14億円強は、
既存事業会社の増加分

03 2022年12月期2Q連結累計期間の概況

2022/8/16

事業運営コストの上昇

水道光熱費

2022年12月期 2Q	売上高比率 2.2%
2021年12月期 2Q	売上高比率 1.6%

運搬費

2022年12月期 2Q	売上高比率 4.0%
2021年12月期 2Q	売上高比率 3.2%

2Qまでのところ、2021年までに実行してきた

**固定費の見直し
設備配置変更**

+

原価上昇以上の付加価値による売上増加の結果

売上総利益

2022年12月期 2Q
8,607百万円 売上高比率 **29.3%**

2021年12月期 2Q
7,409百万円 売上高比率 **27.8%**

+ **1,198**百万円 + **16.2%増**



今後とも、より付加価値を上げて
売上単価を向上させていく必要あり

03 2022年12月期2Q連結累計期間の概況

2022/8/16

販売費および一般管理費

工場・事業所の集約

- ・ 研精堂印刷(株) 工場の集約

事業会社の合併

- ・ (株)サカモト + (株)あみューズ 合併
⇒ (株)funboxへ

⇒ 事業運営コスト効率化で着実な効果

営業利益

2022年12月期 2Q

1,560百万円 売上高比率 **5.3%**

2021年12月期 2Q

794百万円 売上高比率 **3.0%**

+ **766**百万円 + **96.4%**増

03 2022年12月期2Q連結累計期間の概況

2022/8/16

営業外損益

- 助成金収入大幅減 前年同期比 $\Delta 262$ 百万円
- 匿名組合投資利益 前年同期比 $+ 168$ 百万円
- 支払手数料減 前年同期比 $\Delta 124$ 百万円
- 貸倒引当金繰入額 前年同期比 $+ 284$ 百万円

経常利益

2022年12月期 2Q **1,636**百万円

2021年12月期 2Q **1,363**百万円

+ 272百万円 **+ 20.0%増**

EBITDA

2022年12月期 2Q

2,769百万円 売上高比率 **9.4%**

2021年12月期 2Q

2,292百万円 売上高比率 **8.6%**

+ 476百万円 **+ 20.8%増**

※EBITDA = 経常利益 + 減価償却費 + のれんの償却額 + 金融費用

03 2022年12月期2Q連結累計期間の概況

2022/8/16

特別利益・損失

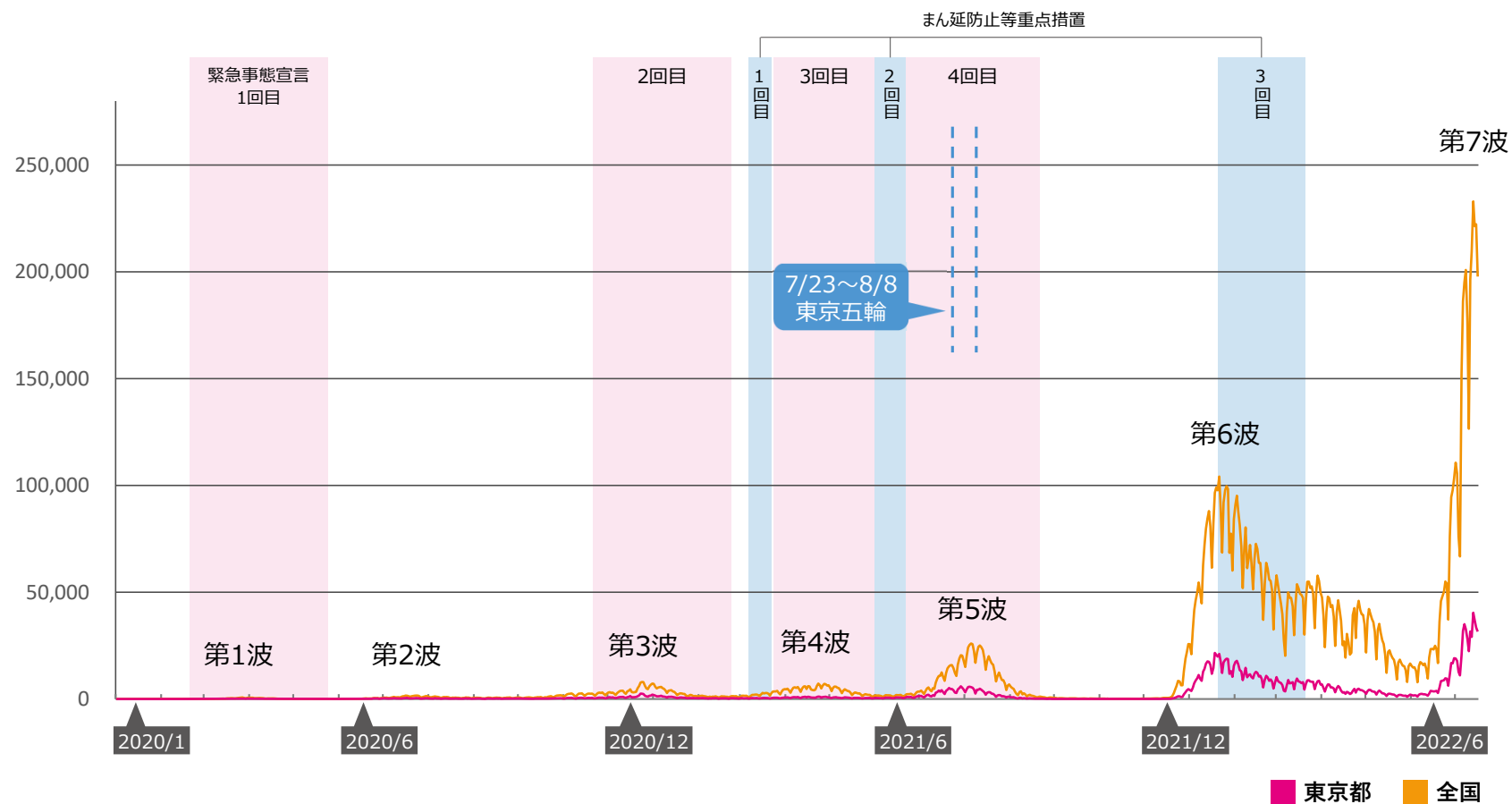
- (株)イメージ・マジック
東証マザーズ（現東証グロース）への上場
⇒ 保有株式を一部売却
- 投資有価証券 のれんの見直し

親会社株主に帰属する四半期純利益

2022年12月期 2Q	773	百万円
2021年12月期 2Q	625	百万円
	+ 148	百万円 + 23.8%増

04 コロナ禍と緊急事態宣言 (東京都)

2022/8/16



※厚労省のデータを元に作成 (緊急事態宣言は東京都が対象になった期間)

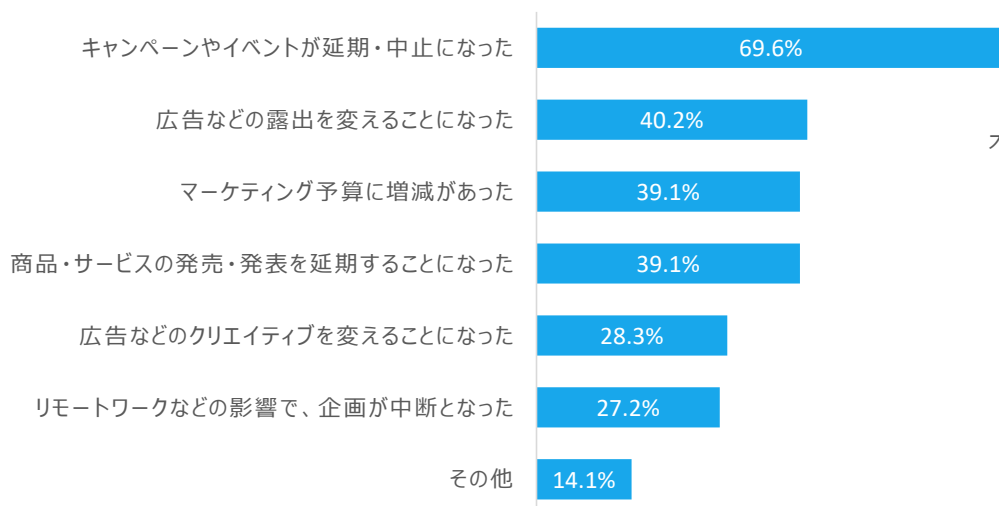
04 コロナ禍による事業環境の変化

2022/8/16

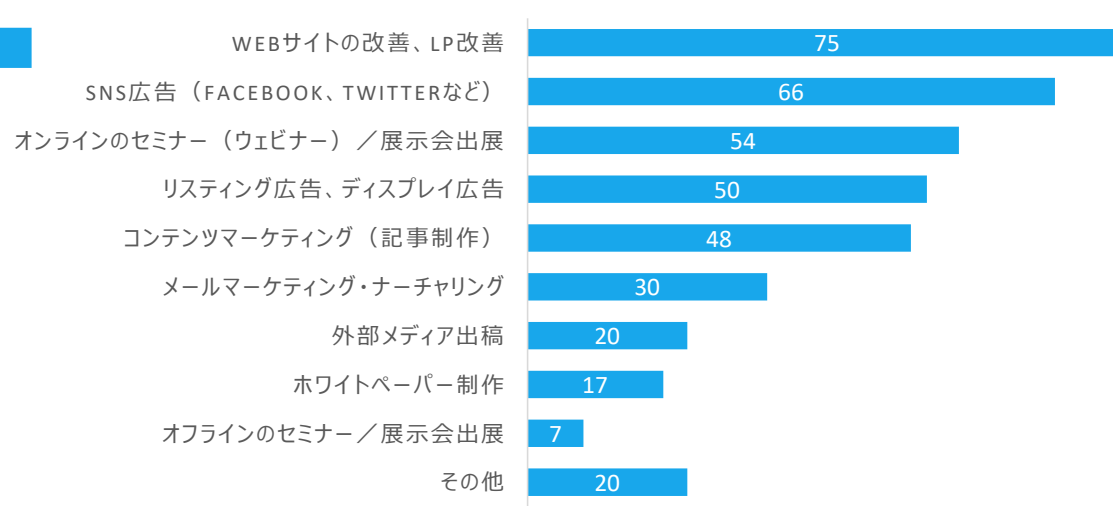
オフライン⇒オンライン

クライアントの活動を お客様につなぐことの重要性

参考1 コロナ禍におけるマーケティング施策の変化



参考2 コロナ禍で強化されたマーケティング施策



※出典「ferret One」

05 新規グループ参入会社

2022/8/16

企画から 制作・メディア運用までのワンストップサービス

クライアント様
(法人企業)



ご依頼

ご納品

プロデューサー

ONE PUBLISHING



管理

製作

ソリューションチーム



競合他社との差異は？

【Case 1】制作会社、編集プロダクション
編集方針など上流設計ができない。単価が高い。

【Case 2】クラウドソーシング会社
単発でのコンテンツ制作や大量制作に対応できるが、編集方針に則ったメディア運営はできない。

【Case 3】大手広告代理店
プランニングは得意だが、メディア運営はできない。再発注先が必要になり、コスト面が莫大に。

PDCA運用
イメージ

クライアント様の状況に応じて、個別・全体最適化できる施策を、企画から運用まで、ワンストップでの支援が可能

1 マーケティング
企画

2 メディア企画

3 制作運用

4 改善運用

06 2022年12月期2Q連結累計期間の概況

2022/8/16

(単位：百万円)

	2022年2Q 実績 (A)	2022年12月期計画 (B)		2021年2Q 実績 (C)	差 異 (A-C)	
	金 額	金 額	対計画比 進捗率	金 額	金 額	対前期比 増減率
売上高	29,399	60,000	49.0%	26,617	2,782	10.5%
営業利益	1,560	2,200	71.0%	794	766	96.4%
営業利益率	5.3%	3.7%	—	3.0%	—	—
経常利益	1,636	2,500	65.5%	1,363	272	20.0%
経常利益率	5.6%	4.2%	—	5.1%	—	—
親会社株主に 帰属する 当期純利益	773	1,500	51.6%	625	148	23.8%
当期純利益率	2.6%	2.5%	—	2.3%	—	—
EBITDA	2,769	4,700	58.9%	2,292	476	20.8%

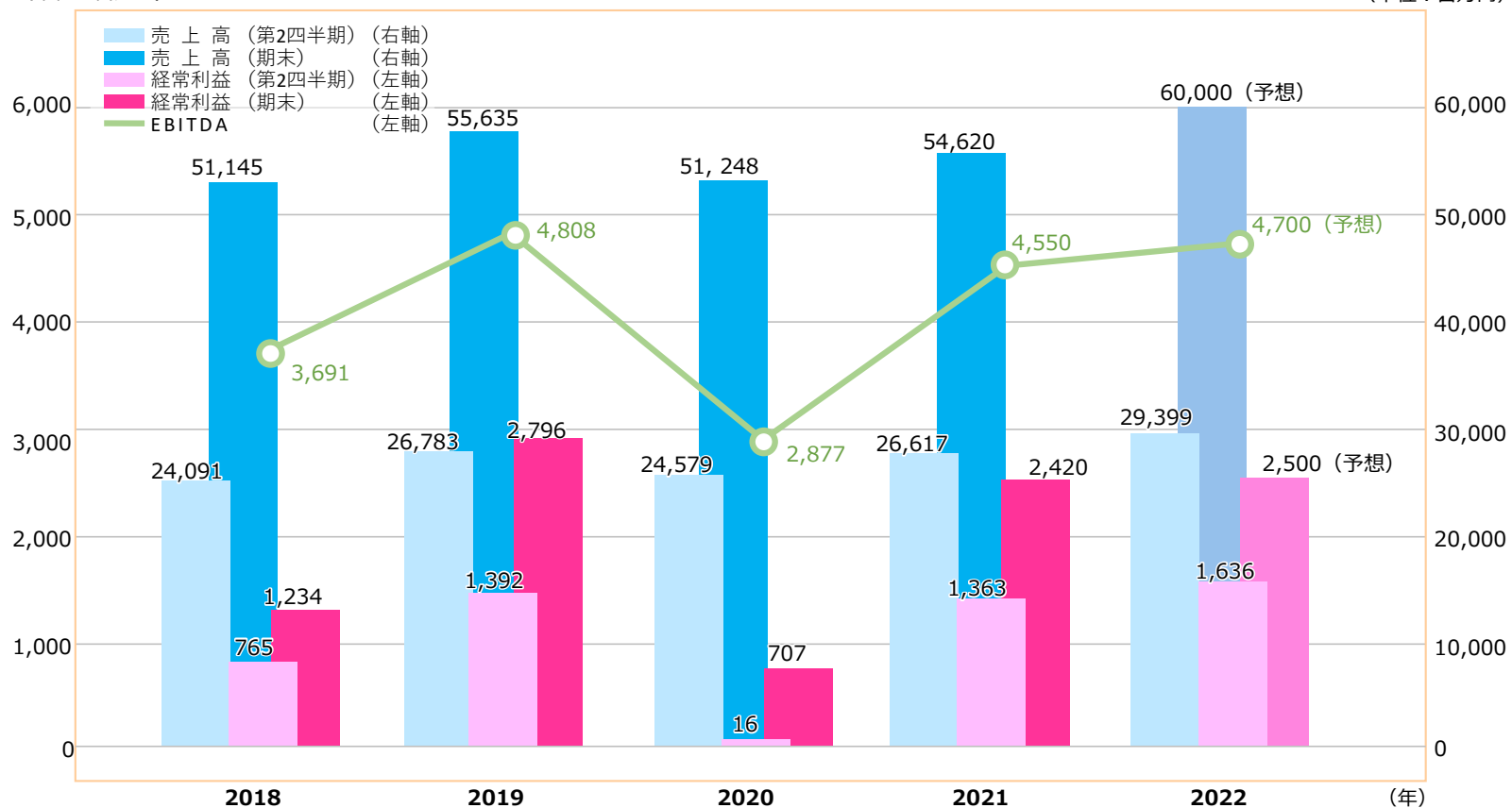
※EBITDA = 経常利益 + 減価償却費 + のれんの償却額 + 金融費用

06 2022年12月期2Q連結累計期間の概況

2022/8/16

(単位：百万円)

(単位：百万円)



※EBITDA = 経常利益 + 減価償却費 + のれんの償却額 + 金融費用

※2019年12月期以降は、不動産賃貸収入を売上高ではなく 営業外収入として計上しています

06 2022年12月期2Q連結累計期間の概況

2022/8/16

(単位：百万円)

		2022年12月期2Q(実績)	2021年12月期2Q(実績)	前期比増減	増減率
A	売上高	29,399	26,617	2,782	10.5%
B	原材料費	6,291	5,556	734	13.2%
	商品仕入	38	114	▲ 76	▲ 66.5%
	外注加工費	7,345	6,719	625	9.3%
	運搬費・著作権料・保管費	1,326	995	331	33.3%
	その他の原価	49	67	▲ 18	▲ 26.8%
A - B		14,347	13,163	1,184	9.0%
	人件費	8,778	8,536	241	2.8%
	減価償却費	690	768	▲ 78	▲ 10.2%
	のれん償却費	55	64	▲ 9	▲ 14.6%
	賃借料	543	517	26	5.2%
	租税公課	174	204	▲ 30	▲ 14.9%
	貸倒費用	▲ 6	26	▲ 32	-
営業利益		1,560	794	766	96.4%
	支払利息	▲ 82	▲ 74	▲ 7	-
	持分法損益	▲ 91	99	▲ 190	-
経常利益		1,636	1,363	272	20.0%
当期利益		773	625	148	23.8%

07 連結貸借対照表 (資産の部)

2022/8/16

(単位：百万円・%)

科 目	2022年12月期2Q		2021年12月期		増 減	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	率
流動資産	27,791	41.6%	28,375	42.6%	▲ 584	▲ 2.1%
現金及び預金	11,245	16.8%	12,231	18.4%	▲ 985	▲ 8.1%
受取手形、売掛金及び契約資産	10,464	15.6%	10,328	15.5%	134	1.3%
電子記録債権	2,296	3.4%	1,827	2.7%	469	25.7%
その他	3,786	5.7%	3,988	6.0%	▲ 202	▲ 5.1%
固定資産	39,065	58.4%	38,220	57.4%	845	2.2%
有形固定資産	25,527	38.2%	25,035	37.6%	492	2.0%
建物及び構築物	7,794	11.7%	6,341	9.5%	1,453	22.9%
機械装置及び運搬具	2,221	3.3%	2,257	3.4%	▲ 36	▲ 1.6%
土地	15,153	22.7%	14,583	21.9%	570	3.9%
その他	358	0.5%	1,853	2.8%	▲ 1,495	▲ 80.7%
無形固定資産	1,484	2.2%	961	1.4%	523	54.5%
のれん	233	0.3%	127	0.2%	106	83.1%
その他	1,251	1.9%	833	1.3%	417	50.1%
投資その他の資産	12,053	18.0%	12,224	18.4%	▲ 170	▲ 1.4%
投資有価証券	4,975	7.4%	4,588	6.9%	387	8.4%
その他	7,077	10.6%	7,635	11.5%	▲ 557	▲ 7.3%
資産合計	66,856	100.0%	66,595	100.0%	261	0.4%

07

連結貸借対照表 (負債及び純資産の部)

2022/8/16

(単位：百万円・%)

科 目	2022年12月期2Q		2021年12月期		増 減	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	率
流動負債	40,095	60.0%	39,877	59.9%	218	0.5%
買掛金	4,261	6.4%	3,825	5.7%	435	11.4%
短期借入金	28,000	41.9%	27,000	40.5%	1,000	3.7%
1年以内返済予定長期借入金	2,400	3.6%	3,200	4.8%	▲ 800	▲ 25.0%
その他	5,434	8.1%	5,852	8.8%	▲ 417	▲ 7.1%
固定負債	15,091	22.6%	14,374	21.6%	716	5.0%
長期借入金	11,850	17.7%	11,250	16.9%	600	5.3%
退職給付に係る負債	576	0.9%	1,235	1.9%	▲ 658	▲ 53.3%
その他	2,664	4.0%	1,888	2.8%	775	41.4%
負債合計	55,187	82.5%	54,251	81.5%	935	1.7%
株主資本	11,185	16.7%	10,803	16.2%	382	3.5%
資本金	400	0.6%	400	0.6%	—	—
資本剰余金	5,458	8.2%	5,530	8.3%	▲ 71	▲ 1.3%
利益剰余金	7,179	10.7%	6,725	10.1%	454	6.8%
自己株式	▲ 1,852	▲ 2.8%	▲ 1,852	▲ 2.8%	▲ 0	0.0%
その他の包括利益累計額合計	140	0.2%	143	0.2%	▲ 3	▲ 2.5%
非支配株主持分	344	0.5%	1,397	2.1%	▲ 1,052	▲ 75.4%
純資産合計	11,669	17.5%	12,343	18.5%	▲ 674	▲ 5.5%
負債・純資産合計	66,856	100.0%	66,595	100.0%	261	0.4%

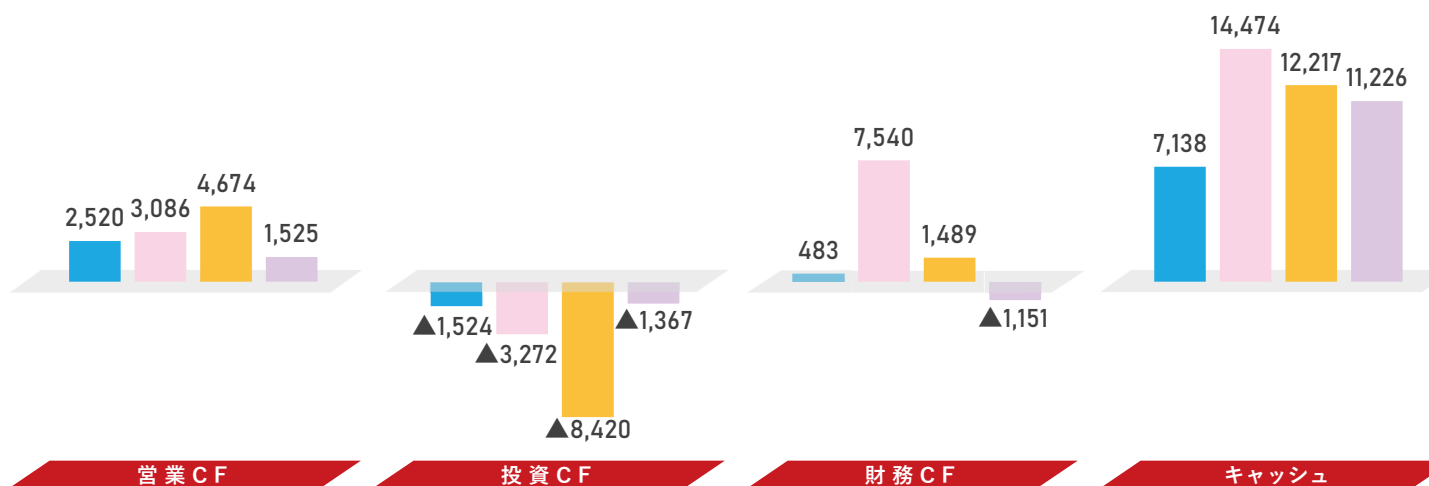
08 キャッシュ・フロー

2022/8/16

■ 2019年12月期 ■ 2020年12月期 ■ 2021年12月期 ■ 2022年12月期2Q

(単位：百万円)

	2019年12月期	2020年12月期	2021年12月期	2022年12月期2Q
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,520	3,086	4,674	1,525
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲1,524	▲3,272	▲8,420	▲1,367
財務活動によるキャッシュ・フロー	483	7,540	1,489	▲1,151
現金及び現金同等物の期末残高	7,138	14,474	12,217	11,226



09 2022年12月期 業績の見通し (連結)

2022/8/16

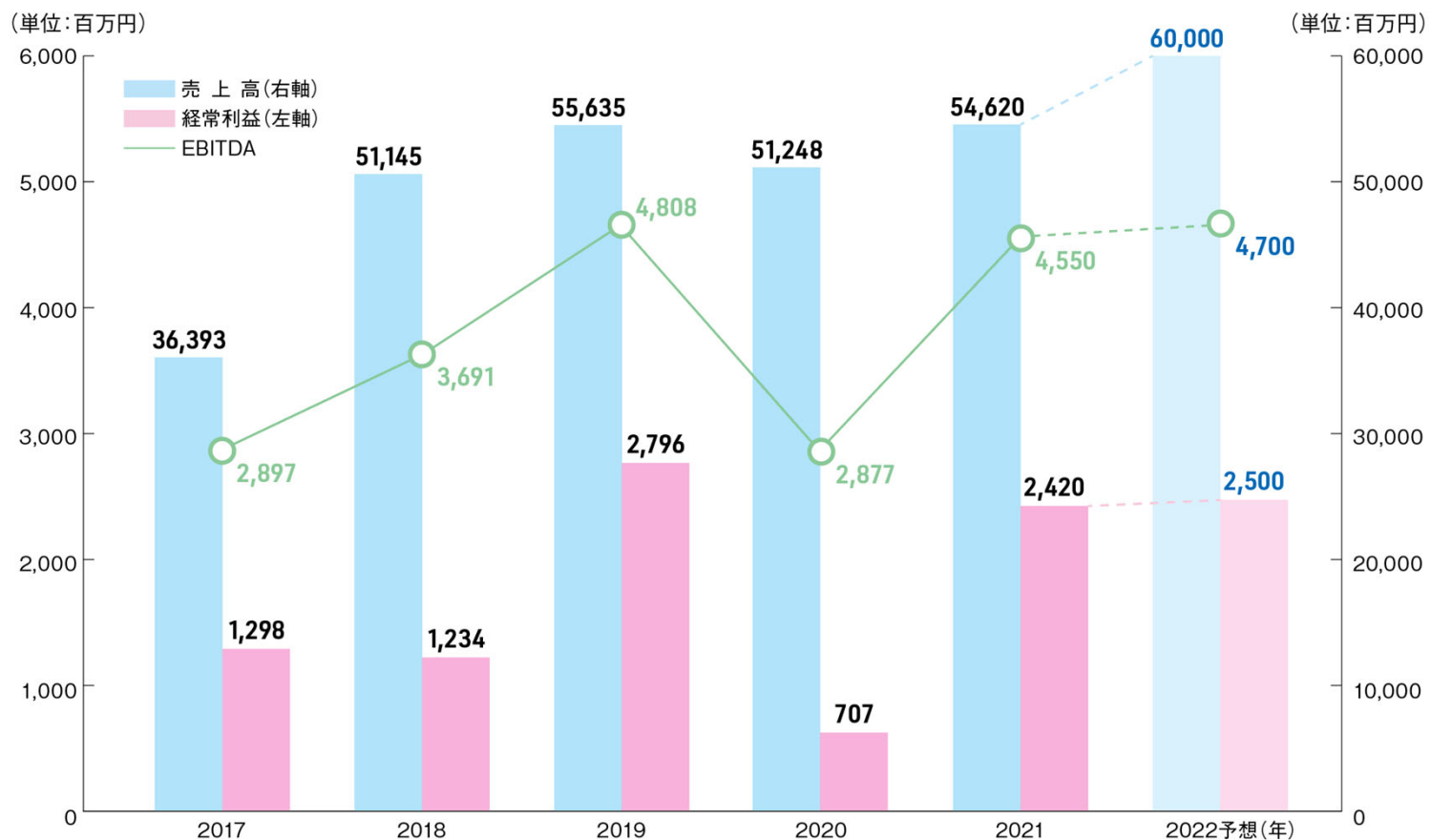
(単位：百万円)

	2021年12月期 (実績)	2022年12月期 (計画)	前 期 比	
			差 額	増減率
売 上 高	54,620	60,000	5,379	9.8%
営業利益	1,745	2,200	454	26.1%
経常利益	2,420	2,500	79	3.3%
EBITDA	4,550	4,700	149	3.3%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	951	1,500	548	57.6%
EPS (円 銭)	18円91銭	31円09銭	—	64.4%
期中平均株式数 (千株)	50,330	48,243	—	—

※EBITDA = 経常利益 + 減価償却費 + のれんの償却額 + 金融費用

09 2022年12月期 業績の見通し (連結)

2022/8/16



※EBITDA = 経常利益 + 減価償却費 + のれんの償却額 + 金融費用
※2019年12月期以降は、不動産賃貸収入を売上高ではなく 営業外収入として計上しています

本日は決算説明会へのご参加 ありがとうございました。

当資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略などに関する情報は、当資料作成時点において、

当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断に基づくものです。

しかしながら実際には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生などにより、

当資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社は、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいりますが、

当資料記載の業績見通しのみ全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、または転送などを行われないようにお願いいたします。



U R L : <https://www.jcpg.co.jp/>

E-mail : cp@jcpg.co.jp

T E L : 03-5817-3061 IR担当